

マウス由来のホスホグリセリン酸ムターゼ1、組換え

Cat. No. NATE-1646

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

ホスホグリセリン酸ムターゼ (PGM) は、解糖系のステップ8を触媒する酵素です。これは、C-3からC-2へのリン酸基の内部移動を触媒し、3-ホスホグリセリン酸 (3PG) を2-ホスホグリセリン酸 (2PG) に変換します。この過程は、2,3-ビスホスホグリセリン酸中間体を介して行われます。これらの酵素は、補因子依存型 (dPGM) または補因子非依存型 (iPGM) の2つの異なるクラスに分類されます。dPGM酵素 (EC 5.4.2.11) は約250のアミノ酸から構成されており、すべての脊椎動物および一部の無脊椎動物、真菌、細菌に存在します。iPGM (EC 5.4.2.12) クラスは、すべての植物や藻類、さらに一部の無脊椎動物、真菌、グラム陽性細菌に見られます。このPGM酵素のクラスは、アルカリフォスファターゼと同じスーパーファミリーに属しています。

別名

Pgam-1; PGAM1

製品情報

種

マウス

由来

E. coli と N-末端で His タグに融合した

形態

液体

EC番号

EC 5.4.2.1

分子量

31.4 kDa

純度

> SDS-PAGEによる95%

活性

>150 ユニット/mg

濃度

1 mg/ml

単位定義

1ユニットは、pH 7.6、37°Cで1分あたり1.0μmolの3-ホスホグリセリン酸を2-ホスホグリセリン酸に変換します。

保管・発送情報

保存方法

短期間 (1~2週間) の保管は+4°Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して-70°Cで保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。